

年4回（4月、7月、10月、1月の各10日）発行

ひゅーまん ねつとわーく



2018年 1月 発行 / 第72号

社会福祉法人 北摂杉の子会

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F TEL 072-662-8133 FAX 072-662-8155 info@suginokokai.com



北摂杉の子会 法人設立20周年記念事業 **利用者作品展**

左下：ジョブジョイントおおさか 堤智紀さん 右上：ジョブサイトよど 加地英貴さん

新年のご挨拶

～法人創設20年を迎えて～



社会福祉法人 北摂杉の子会

理事長 松 上 利 男

新年明けましておめでとうございます。

社会福祉法人北摂杉の子会は、今年2月で法人創設20年を迎えます。また大阪府から事業委託を受けている「大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか」も昨年6月で15周年を迎えました。

私ども法人の開設準備の時から多くの方々にご理解とご尽力を頂いた結果として、現在の社会福祉法人北摂杉の子会の姿があると存じています。改めてご支援を頂きました皆様方に対して、衷心よりお礼を申し上げます。

また、私ども法人事業所で利用者のニーズに真摯に向き合い、その実現に日夜励んでいる職員の皆さんに対して、感謝いたします。

私ども北摂杉の子会は、法人開設以来、法人理念である「地域に生きる」に基づき、様々な障害のある人たちとその家族の方々のニーズに向き合い、地域での暮らしの継続を支える支援サービスの創造と提供に取り組んできました。

そして、私たち法人のミッションである「幼児・学齢期、青年・成人期の生涯にわたる地

域での暮らしを支える包括的な支援サービスの創造と提供、それを支える支援システムの創造と発信」については、一定の枠組みができたと存じています。

しかし、当然のことですが、まだまだ様々な課題があります。

地域での豊かな暮らしを支える様々な居宅支援サービスの創造やグループホームの更なる整備、中・高生に対する療育支援の充実、利用者の重度・高齢化に対する医療的ケア体制の整備、訪問看護事業の創設、入院時のコミュニケーション支援等の医療連携に関する支援、暮らしを支える就労支援・余暇支援の充実等々の取り組みを進めなければならないと思っています。

利用者に対する権利擁護の取り組み、特に意思決定支援、表出性コミュニケーション支援も重要な取組としてあります。

また、「第3次5か年中期計画（2012年度～2016年度）」で未達成目標である「ジョブサイトひむろ」の移転整備については、引き続き重点課題として注力しなければなりません。

この法人創設20年の節目の年を迎えるにあたり、

「第4次5か年中期計画（2017年度～2021年度）」のミッションとして、「更なる成長と創造、地域貢献（地域を耕す）」を掲げました。

「更なる成長」とは更なる質の磨き上げであり、マネジメントの質、支援の質、人財の質、財務の質、設備・環境の質、パートナーシップの質の磨き上げを意味しています。「更なる創造」とは、制度にないサービスも含めたニーズベースでの支援サービスの創造を目指すことです。

「更なる地域貢献（地域を耕す）」とは、更なる成長と創造を通しての地域貢献を意味しています。私ども法人の強みを活かしての地域貢献であり、その領域でのリーディング法人を目指しています。

この第4次中期計画のミッションを踏まえてのビジョン作成については、30代の職員6名でビジョン策定プロジェクトを編成して、取りまとめを行ったところでございます。

第4次中期計画の概要につきましては、法人ホームページをご覧くださいと存じます。

今後ますます「少子・高齢化」社会が進む中で、私たちを取り巻く社会的経済的環境の縮小が進み、障害者福祉制度等社会保障制度の在り方が大きく変化していくことが予測されます。

そのような社会的経済的環境が大きく変化する中で、「様々な人たちの個性が尊重され、その強みが活かされる社会（ダイバーシティ）」の実現が求められているのではないかと考えています。

新年を迎え、私ども法人の理念「地域に生きる」に基づく実践を通して、縮小していく社会変化の中で生じる社会的問題の解決に、少しでも貢献できる法人であり続けたいとの思いを新たにしました次第でございます。

今年も皆様との繋がりを大切にしつつ、新たな歩みを続けて参りたいと存じています。

引き続きご支援、ご鞭撻の程、よろしく御願い申し上げます。

社会福祉法人北摂杉の子会 法人設立 20 周年記念講演会

地域に生きるの実現に向けて
～共生社会のこれからのカタチを考える～

平成30年2月6日（火）10:00～16:00

10:00～10:10 開会挨拶

10:10～12:00 基調講演 毎日新聞論説委員 野澤 和弘 氏

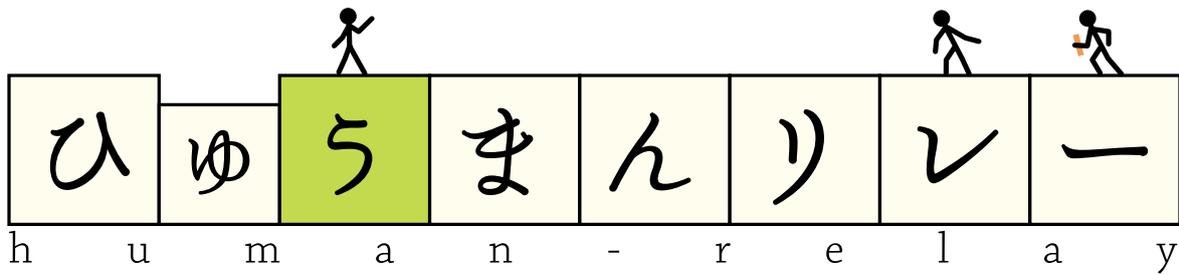
13:00～16:00 シンポジウム

毎日新聞論説委員 野澤 和弘 氏 全国地域生活支援ネットワーク代表理事 大原 裕介 氏

全国手をつなぐ親の会連合会統括 田中 正博 氏 北摂杉の子会 地域生活支援部部长 平野 貴久 氏

コーディネーター 北摂杉の子会理事長 松上 利男 氏

会 場 高槻現代劇場中ホール 定員 500 名 参加費 1000 円（消費税込み）※詳細は当法人ホームページでご確認ください。



地域×福祉：地域の課題を福祉で解決!

社会福祉法人フラット 理事長 はやし あきひろ 林 晃弘さんより

私たちは千葉県千葉県の白井市白井市にあるまだ設立2年目の若い社会福祉法人です（NPO法人で10年活動、通算で12期目になります）。

白井市のお隣は「住みよさランキング」6年連続トップの印西市印西市です。その印西市、白井市が千葉ニュータウンという街を構成しています。白井市は2010年の国勢調査で人口増加率が全国3位になり、爆発的に人口が増え、至るところでマンション、戸建が建設、人口流入が著しい街です。そんな中、人口増加に追いつかない街の課題があり、それを福祉と地域で解決しよう!という取り組みをしています。

障がいをもった方が外に外に出て行くという考え方がある一方で、障がいを持った方々が、地域にとって必要なものにコミットして作り上げていく、その結果、福祉と地域が掛け合わさって新たな地域のコミュニティを作る、と考えています。

市内には親子でほっと一息つけるような場所が少なく、またコミュニティースペースだけでな

く飲食店なども少ないため、子育て世代の親子が気軽に集まれる場所がたりていないことから、ベビママサロンなどを開催できるサロンスペースと併設の0歳1歳の子どもを持つ親でも気兼ねなく集まり飲食ができる「ごろごろの間」を作ってみたり、飲食店全体は親子が楽しめる料理をラインナップして、そこでは障がいがある方も働いて。カフェ店員は看護師と保育士で、まさに子育て世帯の母子がちょっとお茶しながら子育ての話も店員に聞いてみたり…。

学習塾なども足りていないため、就学以降の子どもたちはマンションのエントランスホールで勉強をしている風景がとても多く見られます。しっかり学習できる環境のために学習スペースも併設し、ニュータウン初期に転居してきた団塊の世代の方々に勉強指導をしてもらい、そんな寺子屋風の場所も設けました。また広報前段階ですが、うわさを聞きつけて多くの団体からサロンの開催申込の問い合わせがきていることから

もニーズがあることが伺えます。また看護師免許を持ちながら、子育てや勤務体制の関係で病院で働けなかった看護師から30名超求人申込があったことも、地域目線で働くことを大切にしている専門職が多いことも、私たちの後押しになりました。

障害を持った方の工賃はその店の販売物の売上げに依存することから、大切になってくるのは、こういったことが成り立つかどうかのマーケティングがしっかりなされていることです。将来の街づくり計画にそぐった立地選定や、商圈の同業種（飲食関係）の状況などをみてSTP^{*1}や4P分析^{*2}を行い飲食店のメニュー構成を考えました。福祉業界は障害をもった方に最大限の力を発揮していただけるよう日々の支援を考えますが、それと同時に工賃を支給するための販売のマー

ケティングも、企業と戦えるレベルまで高めて行く必要があると考えています。福祉法人として、地域で生きづらさを抱えている方々のニーズを制度だけに頼らず、地域の中にコミュニティとして生みだし、そこから持続可能なモデルへつなげていくことを目標に現在取り組んでいます。

まだまだ実現には多くの壁がありますが、2018年3月にオープン予定です。実現に向けて若く未成熟な法人ではありますが応援して頂きますと幸いです。

*1 STP分析

マーケティングの目的である、自社が誰に対してどのような価値を提供するのかを明確にするための要素、「セグメンテーション（分類）」「ターゲティング」「ポジショニング」で行う、マーケティングの代表的な手法の1つ。

*2 4P分析

ターゲットに働きかける具体的施策を考えるためのツールでもっとも典型的な製品（Product）、価格（Price）、流通（Place）、プロモーション（Promotion）の4つに分類して分析を行う。



親子カフェ



フラットカフェ外観

大学における発達障がい学生支援

大阪大学キャンパスライフ健康支援センター

准教授 望^{もち}月^{づき}直^{なお}人^とさんより

私は大阪大学で、障がい学生支援やそれに関連する教育や研究を行なっております。国立大学では、障害者差別解消法（正式：障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律）に基づき、障害のある合理的配慮の不提供と不当な差別的取扱いの禁止が法的義務となっています。法律の理念は、多様な人々の共生社会の実現であり、大学という場においては、障害の有無に関わらず、等しく公平な教育環境を提供できるように学内での支援体制を構築することが求められています。本稿では、大学における発達障害学生への支援（合理的配慮）の現状を紹介したいと思います。

近年、発達障害のある学生の増加はトピックであり、身体障害支援が中心であった状況からの変革が進んでいます。発達障害のある学生の修学上（正課活動：授業）の困難さは、発表やグループワークといったコミュニケーションスキルが求められる授業だけでなく、聴覚情報処理が中心となる通常の授業においてもみられるなど、多岐に渡ります。なお現状では、部活動や休み時間など正課外活動については合理的配慮の対象とはなっていません。

ん。しかしながら、学生にお会いしていると、クラブやサークル活動、就職活動など正課外における躓きが正課のパフォーマンスにも大きく影響することがよくあります。大きなハードルはあると思いますが、今後は正課外の合理的配慮についても、大学として地域と連携した枠組みも視野に入れつつ、真剣に検討していく必要があるかもしれません。

他方、本学では大学になってから初めて診断を受ける方も多く、本人だけでなく家族へのサポートについても大きな課題となっています。家族支援としては、ペアトレやペアプロとともに、筆者がお手伝いしている大阪府のペアレント・メンター（アクトおおさかの事業）に注目しています。発達障害のある大学生の保護者の年齢や状況を踏まえると、ピア支援の効果を最大限に活かせるペアレント・メンターは非常に有効な支援と考えられるからです。現在は、地域での啓発活動（講演活動）が中心となっていますが、今後は活動の幅を拓けていく工夫として、幼児期、学齢期、青年期などと対象の家族を絞った活動の企画も考えていければと思っています。



木村診療所

院長 津^つ本^{もと}学^{まなぶ}さんより

木村診療所が開業したのは1983年のことです。

当時精神科の医療は、街から遠く離れたところにある精神科病院がその多くを担っていました。こころの病を得た時には、日常生活から隔離された場所で療養するということが当たり前の時代でした。

時は流れて、今や街には多くの精神科や心療内科のクリニックができ、書店にはこころの問題を扱った本が数多く並んでいます。メディアを通して、精神科で扱われる疾患名が私たちの目に触れない日はないと言っても過言ではないでしょう。

こころの問題が特別なものではなく、日常のすぐ隣に在るものとして認知されるようになったという意味において、こうした変化は望ましいものと言えます。

しかし、こうした変化が私たちの生活に安心やゆとりをもたらしてくれたのでしょうか？

人は人生の途上で何度か生きづらさに直面します。それが生来的な適応の困難によるものであれ、獲得してきた適応の破綻であれ、私たちはいつか・何処かで自らの航路を見失い、途方にくれて立ち止まらざるを得ない時を迎えます。

頼みとする人は誰もいない。いたとしても本心を打ち明けることはできない。そんな時、私たちはインターネットやテレビなどを通じた情報にすがろうとします。

そこに陥穽が待ち受けています。メディアの存続を成立させるものは背景にある資本です。そこには企業の利益を誘導しようとする思惑がある。良

心的な個人発信の情報も、その人の経験や思考を反映した「あくまでも個人の感想」であり、私たちの在り方を前提としたものではありません。それでも私たちは書かれたものや、TVの言説に影響されてしまう。そして自身の悩みとは似て非なるレッテルにすがってしまいます。

こうした時代や社会の志向性を反映するように、精神科医療もまた診断というレッテルに重きを置き、そこから導き出される薬物療法中心の治療を標準化させる方向に「進化」して来ました。

私はこうした医療の在り方に疑問を覚えます。というのも、私たちは診断という類型のもとに定義づけられる前に、ひとりひとりがかけがえのない生活者として位置づけられる存在であるからです。医療はいかなる形であれ、そうした私たちの生活を支援する黒子としてその役割を全うすべきであると思うのです。

私は診療所の役割について常々考えています。精神のみならず、身体も含めたいかなる疾患・病であれ、それを得た人がもう一度新しい人生に向き合おうとする時、その気持ちを支え、疲れた時には一時停泊できる寄港地の役割を果たしたいと。未来に立ち向かおうとする決意を支え、励まし、ともに悩み続ける伴走者になりたいと。日常の中に隠れている回復への鉞脈を、皆さんと一緒に探り当ててけるようなお手伝いができればと思うのです。

職員研修の取り組み ～研修システムの構築～



レジデンスなさはら サービス管理責任者・主任

社会福祉士・介護福祉士・精神保健福祉士 **伊名岡 ひろし 宏**

■ きっかけ

人材育成はどの法人でも重要なポイントであり、北摂杉の子会でも人事考課、法人研修、業務貢献表彰等様々な取り組みを行っています。レジデンスなさはらではさらに人材育成を進めていくために、以下の2点の取り組みを開始しました。

- ①：レジデンスなさはら内の人材育成システムを改良していく。
- ②：より質の高い生活を支援するためにアセスメントスキルを持つ。

今回は『①：レジデンスなさはら内の人材育成システムを改良していく。』を重点的にお伝えをしています。

■ ①レジデンスなさはら内の人材育成システムを改良していく。

レジデンスなさはらでは、これまでも研修を行っており、少しずつではありますが、職員の支援スキル、知識が向上していました。これをさらに、進めていくために、3つの柱を立て、レジデンスなさはらの人材育成システムを改良していくことにしました。

- 「研修の機会を多くすること」
- 「研修の目的が明確であること」
- 「研修へ参加できる体制があること」

■ 3つの柱に沿って実際行ったこと

□ 研修の機会を多くすること

これまで行ってきた研修は、内部研修、交流研

修、外部研修の3つに分類していましたが、これを6種類9分類と更に細分化することによって、研修機会を多く持てるようにしました。

研修機会			
研修機会	内容	頻度	備考
外部研修	外部研修に参加する。	随時	
先進的法人見学	先進的な法人へ視察へ行く	年1回	
交流研修	法人内の他の部署へ見学、実習	随時	
内部研修	15分研修(内部職員が講師)	週1回	タイムリーな研修が可能
	60分研修(平成28年度は真野Drの巡回相談時に研修をしていただく)	年3回	巡回相談時に研修の内容の研修を行う
	週刊クイズ(色々な職員が作成)	毎週1回更新	
図書コーナー		随時	
OJT研修	随時		
毎週ミーティング		週1回	ミーティングをお集まりセンターで行うことで、潜在的な能力の発揮する機会を作る

■ 研修の目的が明確であること

～個別研修計画策定～

研修機会の再分類化にともない、誰がどの研修に行き何を学ぶかを、より明確にするため、1人ひとりに個別研修計画を策定しました。個別研修計画は、職員の希望(ニーズ)と事業所としての役割期待を統合したうえで作成し、職員と事業所のwin-win(相互利益)の関係で研修を受けられるようにしています。

□ 研修へ参加できる体制があること

研修になかなか参加できないと話される事業所の方々からよく聞くお話として、「研修へ参加できる体制が整っていない」ということがあります。レジデンスなさはらの場合もこれに当てはまりますが、「日中にご利用者がいない」、「断続勤務が可能」という2つ強みを活かせるのではと考えました。断続勤務(以下:断勤)とは、6:45～9:45で勤務をし、

勤務後1度家に帰り15:15~21:15に再度出勤するスタイルであり、朝と夜のご利用者がいるときのみ
に特化した勤務です。この断勤を活かし、1人が
研修に行く時は、研修に行かない1人が断続勤務
をすることで研修に参加することができるようにしま
した。(下図の参照)

	Aさん	Bさん	Aさんを断続勤務にすると、		Aさん	Bさん
勤務時間	6:45- 15:30 (早出)	12:30- 21:15 (遅出)	→	勤務時間	6:45- 9:45 15:15- 21:15 (断勤)	研修

また、レジデンスなさはらは1年間の勤務表(年間勤務表)を作成しているので、年間の勤務見通しが立てやすく、「勤務見通し」「研修案内」「個別研修計画」を組み合わせることで、研修に参加する者、カバーする者をいち早く調整でき、研修へ参加できる体制作りが容易になりました。

■ 結果と成果

研修システムを活用し、研修を勧めていくことで、以下の様な結果と成果が得られました。

□ 研修の機会の増加

右の図のように研修の機会、参加人数がおおよそ2倍に

□ 職員の目標の具体化

これまで、漠然と目標を設定していた職員がはっきりとした目標設定が可能に。

□ 支援の質の向上

職員の支援の質が向上し、ご利用者の自立した活動が増加。

□ 一人ひとりの障がい特性に合わせた支援が増える

研修を受けた職員からご利用者の障がい特性に応じた支援の提案が増え、結果として、ご利用者がリラックスできる時間が増加。

□ 「強み」を活かした視点

このように、ご利用者の強みを活かした視点で支援方法を考える傾向が増加。

□ アセスメントの大事さに気付く

レジデンスなさはらは、嘱託職員、パート職員も多く、どのように支援してよいのか戸惑う職員もいました。しかし研修後は、アセスメントの大事さに気がつき「〇〇さんは、こう思っているのではないか?」「〇〇という環境がご本人に影響を与えているのではないか?」とアセスメント的発想が増え、ご本人の環境改善を積極的進められ、決められた仕事以上に前向きに働く職員が多くなっています。

	平成27年度	平成28年度
交流研修	7回	11回
外部研修	21回	32回
内部研修	8回	16回
15分研修	0回	20回
その他	0回	3回
研修合計	36回	62回
参加延べ人数	147人	287人

■ 最後に

このように、多くの職員に学べる機会を増やせば、どんどん成長し、良い支援ができるようになります。「職員の成長=支援力の向上=ご利用者の生活の質の向上」であるので今後も研修システムを磨きあげ、ご利用者の豊かな生活を支援していきたいです。

おもしろ専門講座について



ジョブジョイントおおさか サービス管理責任者・主任

社会福祉士・精神保健福祉士 伊藤 望^{のぞみ}

■ はじめに

ジョブジョイントおおさか（以下、JJ）では自閉症スペクトラム（ASD）のある方の就労支援をしています。メインオフィス（大阪市淀川区十三）とたかつきランチ、定員は併せて60名、実登録数は約80名と、多くの方々にご利用頂いています。

社会人として生活を送っていくためには、ビジネスマナーはもちろん、家事の仕方や公共交通機関の使い方などのライフスキル、気持ちをうまく切り替えられるためのリラックス方法など、様々なことを知っておくことが大切です。現在JJでは20種類近くのプログラムを行っていますが、スタッフは各プログラムの専門家とまでは言えませんので、深い知識をお伝えすることが難しいという状況がありました。また、自閉症スペクトラムの特性上、興味関心の幅が狭く、未経験なことを想像することが難しいため、ご自身から積極的に新たな情報を得ることや、新たな経験を積むことが難しい方が多くいらっしゃいます。

上記のことから、ご利用者には興味の幅を広げて頂きながら、実際に使える知識を知る機会、色々な経験を積む機会を提供したいと考えていました。また、何よりも“おもしろく”学んでほしいという思いもありましたので、2015年度より「おもしろ専門講座」と題したプログラムを開催することとなりました。

■ 実施内容

おもしろ専門講座は「外部講師をお招きして講師の専門知識をご利用者に伝えて頂くこと」・「楽し

く、おもしろく、体験しながら学べること」をポイントとし開催しました。開催日程は、講師の方のご都合もあるので、不定期としています。対象は就労移行支援事業のご利用者とし、自立訓練事業を利用されている方でも、興味のあるテーマがあれば個別に声を掛け参加して頂きました。内容は以下の通りです。

〈平成27年度〉

日程	内容	場所
5月16日	プログラマーの仕事について 仕事の内容/1日の流れ/使用する言語について	高槻
11月20日	資生堂のメイクアップ講座 男性：ヘアセットとスキンケア 女性：スキンケアとメイクの仕方	十三
12月4日	資生堂のメイクアップ講座 同上	高槻

〈平成28年度〉

日程	内容	場所
6月2日	タッチケア 自分で自分の体をマッサージする方法を学ぶ	高槻
6月3日	タッチケア 同上	十三
6月22日	アロマセラピー 香りの効果/自分だけのアロマスプレー作り	十三
6月28日	アロマセラピー 同上	高槻
12月26日	コラージュ療法 雑誌やチラシから心惹かれるものを切りぬき、画用紙に貼り、コラージュを作る	十三
12月27日	コラージュ療法 同上	高槻

■ 実施後の効果

職業に関すること、身だしなみ、セルフケアなど、様々な講座を行った結果、以下のようなご利用者の声がありました。

[プログラマーの仕事について]

- 求人票ではイメージできなかった仕事の具体的な内容について知ることができた。
- 仕事をする上で必要な知識について知ることができた。

[メイクアップ講座]

- 身だしなみやオシャレを意識する機会となった。
- 初めて顔パックをして、気持ちよかった。また、初めてヘアセットをした。

[タッチケア]

- 普段はあまり自分の体を意識することがないが、体をさわることによって体が温まった。
- 初めて自分でマッサージをした。ほっとした気持ちになった。

[アロマセラピー]

- 色々な香りを楽しむことができてよかった。
- 自分の好きな香りが分かってよかった。鼻がすっきりした。

[コラージュ療法]

- ストレス発散につながり、とても面白かった。
- 自分の好きなことに集中できた。

上記のように、外部講師の専門性を活かした「おもしろ専門講座」を実施したことで、JJでは伝えきれないことをお伝えし、ご利用者に新しい経験を積んで頂く機会となりました。また、その後、プログラマーとして就職された方、毎日お化粧品を楽しんでおられる方、ご自分でアロマのお店に行かれた方など、小さな変化も起きているようにも感じます。

■ 今後の展望

おもしろ専門講座は、これまでは、就労移行支援事業のご利用者を対象に実施していましたが、今後は自立訓練事業のご利用者にも色々な経験を積んで頂けるよう、対象とされるご利用者の範囲を広げて実施していきたいと考えています。

また、生活を送るために必要不可欠なお金の使い方、イライラする気持ちをうまく切り替えていくためのアンガーマネジメント、健康的な生活を送るために大切なオーラルケアなど、ご利用者のニーズに合わせて、幅広い内容で実施していくことを検討中です。

今後もお利用者様に「おもしろく」新たな知識を知って頂ける機会、新たな経験を積んで頂ける機会を提供できるよう、講座の内容をさらに充実させていきます。



レジデンスなさはら 管理者・地域生活支援部部长

社会福祉士・介護福祉士 平野貴久

平成29年10月23～29日（※日本時間）までの間、全日本自閉症支援者協会より「本場のTEACCHプログラムの実践とそのマネジメントを学ぶこと」を目的に、米国ノースカロライナ視察研修が実施され、当法人からは、私を含む5名が参加させていただきました。

私からは、現地時間10月23～24日の2日間、訪問させていただいたアルバマーレGHAの視察にて学んだことを報告します。

【第1日目】

ノースカロライナ州の中部に位置するアルバマーレのGHA（Group Home for the Autistic,inc）を訪問。

午前中は、最高責任者（CEO）のドーン氏からGHAの経緯について説明を受け、キャロライナファームの視察を行いました。

キャロライナファームは、広大なファーム内に3ヶ所のグループホームと、日中活動の場があり、居住の場と就労の場を融合させた機能を持っています。

居住の場である、グループホームは3棟が隣接しており、それぞれ6名ずつ計18名が生活されています。かなり重い障害のある方も生活されていますが、各々がその日の予定をご自身で選択出来るスケジュールボードが導入されているなど、個別の「意思」を尊重した生活を重視しつつ、とてもゆったりとした時間が流れていました。



※キャロライナファーム内の3棟のグループホーム

日中の活動には様々なプログラムがあり、馬の世話や乗馬等の活動のホースセラピーや、温室等を利用した野菜の栽培等の作業。デイサービス棟では、ガラス細工の制作やアート活動等が行われていました。五感を楽しむ庭や散歩や歩行のセラピーを目的としたトラック、プールも設置しています。

またファーム内には、緊急一時棟も設置されており、地域で暮らしている自閉症のある方の緊急時の対応もなされていました。

午後からは、就労プログラムや日中活動についての説明がありました。GHAに隣接しているレストランSSS（セカンド・ストリート・サンドリーズ）は、GHAが経営しており、12名の自閉症のある方が働いています。その他にもジョブコーチの支援を受け、企業で働いている方もおられるということでした。

レストランで就労されている自閉症のある方が、とても高いモチベーションを持って働いておられる様子についてのお話を伺うことが出来ました。



※GHAに隣接するレストラン（セカンド・ストリート・サンドリーズ）

重い障害のある方については、GHA内にあるデイサービスに通所されており、約50名の方が通われ、個別に配慮された環境の中で、個別に対応した活動が行われています。また近隣の教会には、展示室があり、自閉症のある方のアート活動の展示がなされています。

【第2日目】

レストランに併設されているミーティングルームにて、様々な講義を受けました。

最初に「自閉症の方の振る舞い（行動）について」の講義。大切なことは本人の「強み」「興味」をアセスメントし支援につなげること、また、特に著しい行動障害のある方については、行動障害を軽減させるというアプローチではなく、ご本人の行動パターンに環境を合わせることから支援を開始する、その重要性についてお話がありました。

次に人材育成について説明。人材確保から、新人研修、GHA内での様々な研修や、ミーティング等についての説明を受けました。

新人に対するトレーニングでは、GHAの理念、求める人材の明確化、自閉症の特性理解等が体系化されており、約半年間にもおよぶプログラムが組み立てられていました。また、人事考課制度、職員の満足度調査の実施、メンター制を取り入れたキャリアアップトレーニング等、人材育成に関する、様々なしくみが整備されていました。

今年度から、ご利用者やご家族の満足度調査も実施されているとのことでした。

午後からは、町の中に点在するグループホーム3ヶ所を見学。自立度の高い方が生活されているアパートメントタイプのホーム、重い障害のある方に対応したホーム、中軽度の方対応のホームの3ヶ所を視察しましたが、どのホームも個性のある素敵な部屋ばかりで、ご利用者も生き生きとされており、地域での豊かな暮らしが伺えました。

最後に、GHAの将来のビジョン（事業展開）について話があり、その中に、高齢化した自閉症のある方への看取りも含めた支援を展開する「マーロンバレーファーマスタッドプロジェクト」と名付け事業がありました。グループホームの各居室やスペースにカメラを設置し、ノースカロライナ大学の病院と提携して、24時間の遠隔治療を行なえるホームの創設を検討されており、すでに候補地を確保され、図面も完成するなど、開設に向けて着々と準備を進められています。

また大学生を対象にしたアパート建設を計画されており、そこに3名の自閉症のある方が暮らすことで、自然なカタチでの支援への期待や啓発活動につなげたいとのことでした。



※ GHA本部前にて

【GHAの所感】

GHAの視察研修での所感は以下の通りです。

①理念の素晴らしさ

「自閉症の方のハッピー」「自閉症の方のQOL（生活の質）の向上」「自閉症の方に対する敬意」等の理念に掲げ、地域を巻き込んで実践されていることの素晴らしさ。

②ニーズベースの支援・事業展開

過去の実践経験や現場でのエピソードから、ご利用者ニーズを着実に法人の将来のビジョンや事業展開につなげておられること。

③最高責任者ドーン氏の存在

ドーン氏のカリスマ性、経営センス、過去の実践から学ぶ力、それを生かす力、等々、ドーン氏の存在がとても大きい。カリスマ性をもちつつ、自閉症のある方が好き、現場を大切にしている、現場と経営陣との距離感、気配り等の配慮等々の人柄も大きい。

④今後私たち法人ができること

- 当法人の課題として「ご利用者の高齢化」があり、これはGHAと同じです。日米の違いはあるものの、現場での実践をいかし、ニーズベースで考えていくべきだと改めて感じました。
- 人材育成について、特に新人研修やキャリアアップに対応した育成の在り方について参考となり、検討出来る点がありました。
- 現場での支援に「選択できる場面」が多く、取り入れたい実践が多く、「ご利用者の豊かな暮らし」という観点からも、学ぶべきものは多数ありました。
- 総合的にGHAと当法人は「地域での豊かな暮らしの創造」「ニーズベースでの支援」という共通の理念があり、向かっている方向性も同じであることを確認出来ました。

【最後に】

今回のノースカロライナ視察研修に行かせていただいたこと、北海道はるにれの里の吉岡様はじめ、お世話になった方々に心よりお礼を申し上げます。

ノースカロライナ視察報告については、3回に分けて行います。次回、機関誌にてノースカロライナ「CLLC」のご報告を萩の杜山根から行う予定です。ご期待下さい。

平成29年度 大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか 開設15周年記念セミナー 「発達障がい児者支援のいま ～身近な地域での支援を目指して～」

去る平成29年10月3日（火）、大阪産業創造館イベントホールにて、「発達障がい児者支援のいま ～身近な地域での支援を目指して～」をテーマに、平成29年度大阪府発達障がい者支援センターアクトおおさか開設15周年記念セミナーを開催いたしました。

前半は、大阪府発達障がい児者支援体制整備検討部会にて部会長を務めておられる永井 利三郎 先生に『自閉スペクトラム児者の早い気づきと、切れ目のない対応への取り組み～大阪府の取り組みから～』と題し、ご講演いただきました。後半は、センター長 松上 利男をコーディネーターにシンポジウムを行い、永井先生はじめ、アクトおおさか開設時から約10年にわたりセンター長を務められた新澤 伸子先生、大阪府福祉部発達障がい児者支援グループ 参事 田中 忠 氏、そして、厚生労働省 発達障害対策専門官である日詰 正文 氏にもご登壇いただき、大阪府における発達障がい児者の支援体制づくりや今後の展開について、貴重なご助言・ご示唆をいただきました。

当日は、約280名と多くの方々にご参加いただきました。一部、アンケートでいただいたご感想を紹介いたします。

- 永井先生には、科学的に実証されている事を医師の立場からお話を聞けて良かったです。早期診断、早期療育の大切さがあらためてわかりました。子どもへの療育や親の勉強は本当に必要だと思います。これからもこのような取り組みを多くの人が受けられるようになってもらいたい。
- 端的な説明で分かりやすく、アクトおおさかの歴史を学びました。シンポジウムでは、貴重なお話を聞くことができ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。
- この15年の間に国、府、市、アクトおおさかの

おかげで発達障がいの理解支援が大きく進みました。これからも切れ目の無い、子と親に寄り添う立場であって下さい。

- 利用できるサービスや支援自体を知らない人も多いように思います。そういったサービスや支援につながりそこねている人たちも救って欲しいです。親や先生の知識、理解のなさから、苦しんでいる子たちへも、点→線→面の支援をお願いします。

このような貴重なご意見をたくさんいただきました。

今回のセミナーを通し、あらためて多くの皆様に支えられていることを実感すると共に、アクトおおさかの15年を振り返り、また、今後のセンターの進むべき方向性について考える、大変有意義な機会となりました。ご参加いただきました皆様に御礼申し上げます。

最後となりましたが、当センターが、15年目を迎えることができましたのも、ひとえにご利用者、ご家族を始め関係者の皆様のご支援・ご理解のおかげと、深く感謝しております。今後ともどうぞよろしくお願いたします。



シンポジウム



基調講演（永井先生）

法人設立20周年記念イベント 作品展

当法人は来年の2月で法人設立20周年を迎えます。20周年を迎えるにあたり、法人内外で様々な取り組みをしていきたい、それらもご利用者にスポットがあたった取り組みにしたいと思っています。

今回は、その1つとして実施しました「利用者作品展」についてご紹介します。

高槻市では、4月の「こいのぼりフェスタ1000」、5月の「ジャズストリート」、8月の「高槻まつり」、1月の「高槻シティーマラソン」と多くの市民参画型イベントが行われています。それに加え、平成13年からは新たなイベントとして、子どもたちから学生、大人までもっと身近にもっと手軽にかかわりあえる「絵（アート）」をテーマにしたイベント「たかつきアート博覧会」が毎年11月に開催されています（高槻市ホームページより）。



「たくさん出展いただきました」
ジョブジョイントおおさかたかつきランチ

今回の作品展は、その「たかつきアート博覧会」の開催に合わせて行ない、「グリーンプラザたかつき」「ジョブジョイントおおさかたかつきランチ」を会場にして実施。ご利用者がつくられた作品や絵画等の出展を、各事業所から利用者・ご家族にお声かけをした結果、たくさんの作品が集まりました。集まった作品は、どれもとてもユニークで、個性的なものばかりでしたので、展示の際は作品の良さが少しでも際立つよ

うキャプションを作成して、作品のタイトルや説明、エピソードなどもご紹介するようにしました。



グリーンプラザたかつき

当日は、ご利用者にもご来場いただき、作品とキャプションを見ながら1つひとつの作品をゆっくりとご覧になられました。

作品とゆっくり向き合ってみると、ご利用者の見ている世界や想いに引き込まれていく感じがします。どの作品もご利用者の自由な発想でつくられていて、1人ひとりの表現の豊かさが来場者を惹きつけているようでした。

今回新たに取り組んだ作品展は、できれば毎年開催したいと考えています。ご利用者の作品が地域の多くの方々にご覧いただけるよう、来年も継続して取り組んでいきたいと思ひます。



杉の子 いいね!

レッツ
クリエイティブ
アート!

当法人のご利用者には、様々な特技をお持ちの方や表現活動（絵画・詞・陶芸等）を行っている方がたくさんおられます。このコーナーでは、そういった活動を紹介しています。たくさんの読者に「いいね!」「共感した!」という想いを届けたいと考えています。

レジデンスなさはら 福本 祐里恵さんの作品



●作品の紹介

これらの絵には、ご自身のイメージで描かれた絵もあれば、スタッフのリクエストに応じて描いてくださった絵もあります。また、切り絵の後姿（裏）もきちんと描いておられ、色も塗られています。そんな生活の中の1コマの絵がたくさん集まりました。



●スタッフのコメント

福本さんは、グループホームでの余暇の時間に絵を描いたり、切り絵をされています。様々な色を使い、器用に手早く作られています。人物の絵はモデルがあり、モデルとなった人の特徴を捉えた作品になっています。また、お部屋には、描かれた絵が貼ってあり、幻想的な空間となっており、心が癒されます。

ララショコラ Hさん、Tさんの作品



●スタッフのコメント

これは、ポケモンが大好きなHさんが描かれた絵に、Tさんが色を塗った作品です。Hさんは、ポケモンがとても好きで、一つひとつのキャラクターの性格や技などにも詳しく、自分で育てたキャラクターをノートにきれいに書かれています。また、ポケモングッズ等も沢山集めておられます。働いたお給料でグッズを買うことを楽しみに、日々お仕事に励んでおられます。ポケモンという同じ趣味を通して、他のご利用者さまとのコミュニケーションも増え、生活の幅が広がり、充実した毎日を送ってられます。



北摂杉の子会のホームページ 更新情報

(平成29年9月～11月)

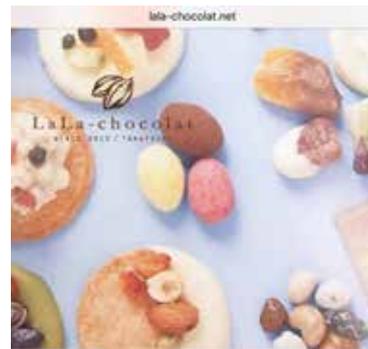
北摂杉の子会のホームページ (<http://www.suginokokai.com>) では、様々な法人の活動や情報提供をリアルタイムで掲載しております。過去3ヶ月のホームページ更新状況をお知らせいたします。ホームページでは、機関誌のバックナンバーもご覧いただけます。ご興味のある方は『北摂杉の子会』で検索して、ぜひアクセスしてご覧ください！

掲載ページ	内 容
各施設のご案内	児童デイサービスセンター an 施設見学会
	こども発達支援センター az 事業所見学会
	自閉症療育センター Link 療育事業説明会
	こども発達支援センター will 療育事業説明会
	平成28年度 放課後等デイサービス自己評価結果の公開
	サポートセンター-PASSO 平成30年度 新規療育児募集に関する説明会
	すぎの子はつつ通信 9/11月号
お知らせ	強度行動障害支援スーパーバイザー養成研修 開催のお知らせ
よどのコロツケ	よどのコロツケかわら版更新
	イベント販売&お知らせ
Café Be	ランチメニュー更新
	Café Be ミュージック・デイ情報更新

ラ ラ シ ョ コ ラ
LaLa-chocolat
ホームページ開設のご案内

このたび、LaLa-chocolat (ララ-ショコラ) では、ホームページを開設いたしました！
パソコン、スマートフォンに対応していますので、最新情報がいつでもご確認いただけます。
ぜひご覧いただきますよう、お願いいたします。

<http://lala-chocolat.net>



高槻から、
おいしい笑顔をお届けたい

私たちはお菓子のもつ、たくさんの魔法がずっとずっと続くよう、ていねいに、やさしく心をこめて、お菓子を作っています。みなさまの特別なひとときに、大切な方への贈り物に、ララショコラのお菓子たちが幸せのお手伝いをいたします。

掲示板コーナー

(平成29年9月から平成29年11月まで)

法人本部総務部 掲示板

9月	行 事
7日	第111回理事会 第1号議案 経理規程改正の件 第2号議案 萩の杜従たる事業所移転に係る造成費の件
7・22日	運営会議
11・25日	経営会議
12~15日	第1回 スーパーバイザー養成講座
15日	医療連携推進室会議
29日	強度行動障害支援スーパーバイザー養成研修
10月	行 事
7日	第3回 法人研修／第4回 北摂杉の子研修セミナー 「自閉症スペクトラムの人たちとのコミュニケーション ～年齢・発達・状態に合わせた伝え方や表出の工夫～」 講師：Elizabeth O'Toole (エリザベス・オトゥール) 氏 通訳：社会福祉法人はるにれの里 吉岡 俊史 氏
10・30日	運営会議
13・27日	経営会議
20日	医療連携推進室会議
24日	新入職員研修
27日	強度行動障害支援スーパーバイザー養成研修

11月	行 事
4日	採用応募者説明会
6・20日	経営会議
10・24日	運営会議
12日	採用筆記試験
14~17日	第2回 スーパーバイザー養成講座
15日	採用一次面接
17日	医療連携推進室会議
18日	第4回 法人研修 大阪10区選出の衆議院議員と語ろう② 障がい者福祉のこれからのカタチ ～私たちの夢や想いをカタチに～ 衆議院議員 大隈 和英 氏 法人プロジェクトの進捗報告／ノースカロライナの 視察報告
22日	新入職員研修
24日	強度行動障害支援スーパーバイザー養成研修
29日	採用二次面接

(河辺 記)

法人研修 衆議院議員 大隈 和英 氏をお迎えして



萩の杜 掲示板

ふれっと作品展

萩の杜 日中活動支援センターふれっとでは、活動の時間に創作活動に取り組んでいます。12月には制作した作品を展示する「ふれっと作品展」をカフェBe（ふれいすBeのカフェスペース）とアクトアモーレの展示コーナーで開催しました。毎回新しい作品にチャレンジしており、今回は「草木染め」に挑戦しました。ご利用者の特徴や関心を活かすことと、新しいことにチャレンジする姿勢を大切にしていきたいです。



「カフェBeでの展示」

ご利用者がそれぞれ、得意なこと、興味のあることを活かしながら作品を作っています。



「草木染」

初めて制作した草木染の作品です。



草木の葉を煮詰めて、染色します。

ご利用者もご自身の作品が展示されている様子を見に行き、カフェBeでコーヒータイムを楽しまれています。



(山根 記)

ジョブサイトひむろ掲示板

ひむろ旅行

10月20日(金) 六甲山



11月10日(金) 明石市立天文科学館



出店 / 販売

陶芸の器、雑貨を販売しました。
販売を通して、商品のこと、事業所のことを知っていただく機会にしています。



たかつき〇まるしえ@高槻市役所
9月7日(木)



作業所ミニバザー@ゆうあいセンター
9月26日(火)



陶芸市@上牧二十四節記 11月26日(日)



(森田 記)

大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか

9月	行	事
1日	地域支援マネージャー事業：泉佐野市・田尻町	訪問
4・6日	講師派遣：大阪家庭裁判所	「発達障がいに関する理解を深める講習」
8日	地域支援マネージャー事業：羽曳野市	全体会研修
12日	発達障害者就労支援者育成事業（近畿ブロック）	第1回企画委員会
15日	第1回発達障がいの地域支援を考える会 「アクトおおさかの事業紹介」「ペアレント・メンターの話を聞こう」	
25日	ペアレント・トレーニングインストラクター養成研修	1クール1回目
29日	ペアレント・トレーニングインストラクター養成研修	1クール2回目 大阪府発達障がい児療育拠点情報交換会

10月	行	事
2日	ペアレント・メンター活動：豊中市すこやかプラザ	
3日	アクトおおさか15周年記念セミナー 「発達障がい児者支援のいま」～身近な地域での支援を目指して～ 基調講演講師：プール学院大学 教授 医学博士 永井利三郎氏 <シンポジスト> プール学院大学 教授 医学博士 永井利三郎氏 武庫川女子大学 教授 アクトおおさか 元センター長 新澤 伸子氏 厚生労働省 発達障害対策専門官 日詰 正文氏 大阪府 福祉部 発達障がい児者支援グループ 参事 田中 忠氏	
6日	地域支援マネージャー事業：太子町	訪問
11日	地域支援マネージャー事業：泉佐野市・田尻町	訪問
19日	地域支援マネージャー事業：岸和田市	訪問 ペアレント・メンター活動：茨木市ワムホール
24日	地域支援マネージャー事業：太子町	研修会
30日	ペアレント・トレーニングインストラクター養成研修フォローアップ研修（ファシリテーター参加） ペアレント・メンター活動：松原市役所	
31日	平成29年度 第2回大阪府発達障がい児者支援体制整備検討部会	

11月	行	事
6日	地域支援マネージャー事業：摂津市	訪問（打ち合わせ）
7日	地域支援マネージャー事業：高槻市	訪問（打ち合わせ）
9日	地域支援マネージャー事業：門真市 障害部会 基礎講座 泉佐野市・田尻町自立支援協議会 定例会	
10日	第2回発達障がいの地域支援を考える会「発達障がいと医療」 講師：大阪府こころの健康総合センター 平山 照美氏	
14日	講師派遣：大阪府人権協会	
16日	地域支援マネージャー事業：岸和田市	事例を通じた講座・グループワーク
17日	ペアレント・トレーニングインストラクター養成研 2クール1回目 平成29年度 第2回大阪府発達障害団体ネットワーク会議	
20日	地域支援マネージャー事業：高槻市総合センターにて研修会	
24日	ペアレント・トレーニングインストラクター養成研 2クール2回目 ペアレント・メンター活動：寝屋川市立保健福祉センター	
28日	地域支援マネージャー事業：羽曳野市 事例発表 平成29年度 第2回大阪府発達障がい児者支援体制整備検討部会子どもワーキング	
29日	地域支援マネージャー事業：豊中市訪問（地域課題の整理）	
30日	発達障害者就労支援者育成事業（近畿ブロック）講習会参加	

（内田 記）

シンポジウム



アクトおおさかのあゆみ

懇親会



児童発達支援部

◆ 個別療育 ◆



スケジュールを自分で確認しています



自力通所の練習中です



自立課題に集中して取り組んでいます



廊下掃除を頑張っています



今日の活動の振り返りをしています



❖ 療育教材のご紹介 ❖



時間割を合わず課題です

◆ PASSOくらぶ ♠



グランフロント大阪に行ってきました



フォトフレーム作りをしました

大阪府障がい児通所支援事業者育成事業



三島圏域連絡会 (こども発達支援センターwill)

淀川区の幼稚園教諭向け講習会



「子育て講座～子どもの目線で考えてみよう」(児童デイサービスセンターan)

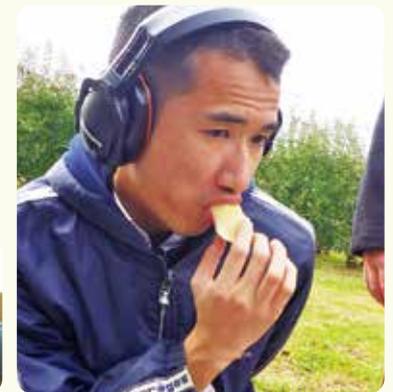
(西ヶ峯・水口 記)

ジョブサイトよど/ジェイ・ブランチよど掲示版

余暇活動・日帰りレクリエーション♪

ご利用者の方々、スタッフの方々の笑顔が溢れた秋でした♪
来年も皆さんが楽しんで頂ける秋にしていきます!!





(田端 記)

ぷれいすBe 掲 示 板

今回も土曜日を中心に様々な余暇・外出プログラムを実施しましたのでご紹介させていただきます。

9月

カフェコンサート



いつもお世話になっている音楽療法の先生とご利用者の弟さんが演奏してくれました



みんなで歌いました



みんなで飛び入り参加です



午前午後合わせて100名近い集客でした



10月

ウォークラリー



みんなで相談中



ハロウィン



ミニオンの仮装です

11月

ゲーム大会



何個積めるかな？

深北緑地



恐竜すべり台



万博記念公園



(下 記)

ジョブジョイント(JJ)おおさか -たかつきブランチ- 掲示板

9月	行	事
6日	会社見学会 (就労移行向け)	
9~10日	ジョイふるJJ: キャンプ (卒業生向けサービス)	
12日	事業所見学会 (高槻)	
16日	AM: 土曜クラブ、家族ミーティング、PM: ジョイふるJJ (卒業生向けサービス)	
26日	事業所見学会 (十三)	
27日	避難訓練 (十三) 障害者雇用意見交換会 (卒業生の受け入れ企業向け)	
28~29日	利用者健康診断 (高槻)	

10月	行	事
4日	利用者健康診断 (十三)	
10日	事業所見学会 (高槻)	
11日	避難訓練 (高槻)	
13日	ジョイふるJJ (卒業生向けサービス)	
24日	事業所見学会 (十三)	
28日	AM: 土曜クラブ PM: ジョイふるJJ (卒業生向けサービス)・働くチカラPROJECT (大学生向けサービス)	
30日	大人の社会見学 (自立訓練向け)	

11月	行	事
6日	会社見学会 (就労移行向け)	
11日	AM: 先輩のハナシ+実習報告会、 PM: 働くチカラPROJECT (大学生向けサービス)	
14日	事業所見学会 (高槻)	
15日	スタッフ内部研修	
18日	働くチカラPROJECT (大学生向けサービス)	
19日	高槻アート博覧会に参加 (作品展)	
22日	スタッフ内部研修	
25日	働くチカラPROJECT (大学生向けサービス)	
28日	事業所見学会 (十三)	

(山田 記)

おもしろ専門講座 ～CADを知ろう～

利用者の皆さんの興味関心を広げるために、専門的な仕事をされている方を講師としてお招きし講義をしていただくプログラムです。

今回はCADの仕事について実践を交えながら教えていただきました。



ライフスキル倶楽部 ～選挙について～

選挙前に講座で選挙について学びました。

ロールプレイで実際に投票にもチャレンジしていただきました。



先輩のハナシ+実習報告会

卒業生の方と体験実習の参加者にご自身の体験について発表していただきました。



生産活動支援部 掲示板

9月 高槻西武「ご当地味めぐり」

高槻西武「ご当地味めぐり」での、販売の様子です。スタッフが販売しているところを、利用者さんが応援見学に来られました。



11月 尼崎 てんこもり物産展

ララショコラのチョコレートとよどのクロッカを販売しました。お一人でも多くの方に商品を買っていただけるよう、心を込めて販売しました。



11月 サッカー

法人内のサッカー練習です。みんな少しずつ上手になっています。12月2日の試合当日が待ち遠しい!



ララショコラ 厨房の様子

12月のお歳暮シーズンからバレンタインの2月、ホワイトデーの3月までララショコラの繁忙期になります。厨房内も大忙し。

また、10月にララショコラのホームページを開設いたしましたので、そちらもぜひアクセスしてみてください。ララショコラへの応援、よろしくお願いします!!



(中野 記)

萩の杜家族会 掲示板

9月	行	事
4日	家族会会長会議（本田会長出席）	
11日	イオンのイエローレシートキャンペーンに参加	
14日	家族会役員会	
24日	カトリック高槻教会にて花販売（20年以上継続中）	
28日	サークル萩（手作り品の作成と情報交換会）	
10月	行	事
8日	奥坂コミセンバザー参加	
11日	イオンのイエローレシートキャンペーンに参加 杉の子農園収穫祭参加	
20日	家族会臨時総会（現代劇場） ・第1号議案 平成30年度以降の家族会費改訂の件 ・第2号議案 萩の杜従たる事業所（通所）開設に伴う新規通所利用者の家族会加入とそのため規約改訂の件 ・第3号議案 会計担当役員の代行の件	
	家族会定例会 ・施設からの報告 ・各分会報告	
22日	カトリック高槻教会にて花販売	
26日	サークル萩（手作り品の作成と情報交換会）	
11月	行	事
9日	母親親睦会：高槻市・築漸にて、19名参加	
11日	イオンのイエローレシートキャンペーンに参加	
16日	サークル萩（手作り品の作成と情報交換会）	
26日	カトリック高槻教会にて花販売	

（植松 記）

母親親睦会



ジョブサイトひむろ家族会 掲示板

9月	行	事
13日	第2回 定例会 (高槻現代劇場206号) 出席者38名 欠席者13名 来賓 松上理事長 平野理事 森田施設長 ・法人より現状報告 松上理事 ・地域生活支援部より報告 平野理事 ・ジョブサイトひむろより活動報告 森田施設長 ・高槻ふれあいバザーについて	
10月	行	事
11日	杉の子農園収穫祭	
20日	高槻ふれあいバザー前日準備	
22日	高槻ふれあいバザー 台風の為中止	
30日	家族会会長会 (本部会議室) 東会長出席	
31日	第3回グループホーム入居希望者の会 (阿武山公民館)	
11月	行	事
8日	第3回役員会 (本部会議室)	
13日	嘱託医 真野先生との勉強会 「高血圧」について	
13日	後援会・役員会 (現代劇場会議室) 東会長出席	
22日	ひむろ移転候補地の認可を求める署名を市役所に持参 (会長、副会長他)	

(垣端 記)

ジョブサイトよど&ジェイ・ブランチよど家族会 掲示板

9月	行	事
4日	家族会会長会 (法人本部402号室 出席:永井、玉木)	
5日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同定例会 (淀川区民センター) ・「松上理事長と語ろう」 出席者 松上理事長、佐々木理事、田端施設長 ジョブサイトよど家族会 (出席者:12名) ジェイ・ブランチよど家族会 (出席者:6名)	
30日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同役員会 (ジョブサイトよど2階)	
10月	行	事
3日	大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか 開設15周年記念セミナー (大阪産業創造館4階イベントホール 出席:永井)	
7日	第4回 北摂杉の子会研修セミナー (高槻市生涯学習センター多目的ホール 出席:永井)	
12日	ジョブサイトよど&ジェイ・ブランチよど 家族様向け勉強会 (淀川区民センター) 講師 中山清司 氏 (当法人スパーバイザー) ・第1回「自閉症の特性について」 出席者 田端施設長 ジョブサイトよど家族会 (出席者:12名) ジェイ・ブランチよど家族会 (出席者:6名)	
28日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ブランチよど家族会 合同役員会 (ジョブサイトよど2階)	
30日	家族会会長会 (法人本部402号室 出席:永井、玉木)	

11月	行 事
2日	ジョブサイトよど&ジェイ・ランチよど 家族様向け勉強会 (JEC日本研修センター十三) 講師 中山清司 氏(当法人スパーバイザー) ・第2回「問題行動への対応について」 出席者 田端施設長 ジョブサイトよど家族会 (出席者:14名) ジェイ・ランチよど家族会 (出席者:7名)
7日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ランチよど家族会合同定例会 (淀川区民センター) ・「フロア・フリートーク」 出席者 田端施設長 ジョブサイトよど家族会 (出席者:10名) ジェイ・ランチよど家族会 (出席者:6名)
13日	北摂杉の子会後援会臨時役員会(高槻生涯学習センター第1会議室 出席:玉木)
18日	第2回「よどおやじの会」(新梅田食堂街「しおや本店」) 出席者 松上理事長、佐々木理事 ジョブサイトよど家族会 (出席者:4名) ジェイ・ランチよど家族会 (出席者:2名)
25日	ジョブサイトよど家族会、ジェイ・ランチよど家族会 合同役員会 (アーリーアーク501号室)

(永井 記)

ぶれいすBe家族会 掲示板

9月	行 事
4日	家族会会長会(出席者:厚東)
14日	役員会(ぶれいすBe会議室)出席者:9名(施設長を含む) ・積立金の取り扱いについて ・定例会の準備(「定例会開催のお知らせ」他書類・資料の確定・役割分担など) ・機関誌「掲示板」原稿の確認 ・「Beどうし」原稿の確認
29日	参観&ランチ(第三回) 参加者5名 担当役員(西郷、厚東)

10月	行 事
12日	役員会(ぶれいすBe会議室)出席者:9名(施設長を含む) ・参観&ランチ(第三回)の報告 ・定例会の準備(資料の決定・印刷・配布・役割分担等) ・「ショートステイ懇談会」の案内文書の確定と配布 ・女性利用者のグループホーム問題への取り組み:高橋香織様と家族会会長とを呼びかけ人とする会結成のための「呼びかけ文書」の確定と配布
14日	定例会(カフェBe)10時~12時まで、参加者:33家族(34名) 報告と質疑応答 ・司会進行(岡田、厚東) 1. 積立金の取り扱いについて(厚東) 厚東会長が「上半期収支報告」を行なったのち、積立金額の推移および取り扱いに関する現時点での問題点を説明。それをうけて質疑応答。 2. 竹内恒 ぶれいすBeリスクマネジメント委員会委員長 「ひやりはつとに関する年次報告」の後、質疑応答。 3. グループホーム問題の現状と課題 ・平野貴久北摂杉の子会理事・地域生活支援部部長の報告 ・「グループホーム入居希望者の会(行動障がい対応型)」世話役の辰巳くみ子・浩一郎様の報告 その後、質疑応答 4. 下裕幸 ぶれいすBe施設長 「AR毎に即した活動報告」うけての質疑応答
23日	ショート事業との懇談会(ぶれいすBeショートステイの部屋) 参加者:8名、施設側から3名、担当役員(澤村・岸)

10月	行	事
30日	家族会会長会（出席者：厚東）	
31日	グループホーム入居希望者の会（行動障がい対応型）第三回、阿武山公民館 10:30～11:30 出席者、入居希望者18名、杉の子会から3名、家族会 会長2名 7月から8月にかけて、入居希望家族と下施設長および森田施設長との間で個 別面談。入居者の選定基準は6つ（そのおおよそについては第一回の会合で紹 介済み）。その基準に即して3ヶ月間をかけて入居者選定作業を行なわれ、10 月30日の経営会議で最終決定。それをうけ平野理事が結果発表。計14名で すべて男性。ふれいすBeから7名（当初の希望者14名）、ジョブサイトひむろ から7名。（当初の希望者7名）	

11月	行	事
7日	参観&ランチ（第四回）9名（8家族） 担当役員：北川、大曽根	
9日	役員会（ふれいすBe会議室）出席者：10名（施設長を含む） ・「ショートステイ懇談会」（10月23日）第四回参観&ランチ（11月7日）、の 報告 ・平成29年度寄付金計算根拠の確認 ・下期の活動計画→「表出性コミュニケーション」に関する勉強会をしたい!	
13日	北摂杉の子会後援会・臨時役員会（会計：和田）	

（厚東 記）

自閉症スペクトラム児・者を支援する親の会 オアシス 掲示板

9月	行	事
3日	公開講座『発達障がい児・者の家族支援「今とこれから」』 ～自閉症スペクトラムのある当事者が安心して暮らせるための家族支援のあり方～ 場所：ドーンセンター 4階 大会議室1 講師：新澤 伸子先生 武庫川女子大学文学部心理・社会福祉学科教授 社会福祉法人北摂杉の子会 児童発達支援部 非常勤嘱託スーパーバイザー TEACCH®公認上級コンサルタント	
4日	オアシス役員会	
15日	勉強会 参加・後援（主催：大阪自閉スペクトラム症協会） テーマ：災害に負けない!知的障害と発達障害の方への防災 講師：堀 清和先生（兵庫医療大学） 場所：ドーンセンター 中会議室3	
17日	JDD ネット大阪 懇親会参加	
21日	オアシスサロン（アーリーアーク404号）	
25日	施設見学会&出張オアシスサロン NPO法人あそと 就労継続支援B型事業所 book and cafe cocoaru	

10月	行	事
2日	オアシス役員会	
3日	アクト大阪 15周年記念講演会 参加	
7日	第4回北摂杉の子会研修セミナー 参加 おやじの会（大阪自閉スペクトラム症協会との共催）	
15日	親子交流会『大阪城御座船 黄金の和船遊覧』 大阪城極楽橋西側から大阪城内堀を遊覧	
18日	ホットメールなにわ（クレオ大阪）	
19日	谷岡先生を囲んでの座談会（ドーンセンター） 講 師：児童発達支援部長 谷岡 とし子先生 テーマ：「支援の上手な活用について」	

11月	行 事
17日	大阪府発達障害ネットワーク会（クロスバル高槻）
18日～19日	『親子ふれあいキャンプ』参加・協力 主催：日本自閉症協会、共催：大阪自閉スペクトラム症協会 場所：アミティー舞洲
20日	オアシス役員会
25日	「そよかぜまつり」出店 主催：大阪市西区社会福祉協議会の西区障害者・児ネットワーク 場所：大阪市西区民センター1階ホール
28日	オアシス保護者による実践報告会 場所：ドーンセンター4階 大会議室3 タイトル：『息子と笑い合いたい』 ～自閉症のわが子との関わりの出発点から現在まで～ スーパーバイザー：谷岡 とし子先生（北摂杉の子会 児童発達支援部部長）

（坂地 記）

北摂杉の子会 後援会 掲示板

本会の活動に対して多くの方々や企業、団体、また萩の杜、ジョブサイトひむろ、ジョブサイトよど、ジェイ・ランチよど、ふれいすBeの家族会の皆様のご支援を頂き、まことにありがとうございます。今後ともより一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

<近況報告>

9月 個人会員：420名、団体会員：24団体
合計：444名／団体 寄付：1件
10月 個人会員：423名、団体会員：24団体
合計：447名／団体 寄付：なし
11月 個人会員：423名、団体会員：25団体
合計：448名／団体 寄付：5件

（2017年11月末までの新規会員）

個人会員：32名、団体会員：1団体

<報告事項>

- 1) 今年度の2017年11月末までに17件、433,000円の寄付、750,000円の会費、合わせて1,183,000円の資金を頂きました。ご協力ありがとうございます
- 2) 2017年11月に150,000円を法人に寄付（萩の杜園庭、植木の剪定と除草の費用）

3) 2017年11月13日（火）に臨時役員会を開催

- 2017年8月～2017年10月までの経過報告
個人会員：423名、団体会員：24名、寄付：12件、資金：818,742円（会費納入率は個人：50%、団体：29%）
- 法人20周年記念事業の内容と後援会からの寄附165万円の用途についての説明
（法人総務から）
寄附金は下記事業の費用として使用することが役員会の全員一致で承認された。
 - i. 法人設立20周年記念講演会（50万円）
 - ii. 法人設立20周年記念誌（88万円）
 - iii. 杉の子農園プロジェクト収穫祭（5万円）
 - iv. サッカープロジェクト（16万円）
 - v. 利用者作品展（6万円）

• 次回臨時役員会の開催予定

2018年2月14日（水） 14：00～15：00

場所：高槻現代劇場401号室

（棚山 記）

寄付と後援会入会のお願い

社会福祉法人「北摂杉の子会」後援会の趣旨に賛同され、ご支援して下さる方々の寄付及び後援会への入会をお願い申し上げます。寄付金と後援会費は法人を支援するための資金とさせていただきます。

お振込みは右記口座まで。

皆様のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

既に今年度、後援会会費をいただいた方には重ねてのご案内になりますことを、どうかご容赦ください。

記

1. 寄付金(注)
2. 個人会員 年間一口 2,000円
3. 団体会員 年間一口 10,000円

郵便振込口座 北摂杉の子会
00920-8-90859

(注) 任意団体である後援会の領収書では確定申告の際に寄付金控除を受けることは出来ませんので、寄付金控除の出来る領収書をご希望の方は法人の下記口座にお振込み願います。

銀行名：三菱東京UFJ銀行 支店名 高槻支店 口座名：社会福祉法人北摂杉の子会
口座番号：5085555

～ 皆様の温かいご支援に感謝いたします ～

法人へのご寄附に感謝いたします。(平成29年9月1日～平成29年11月30日)

中村節史 蛭 豊 植松芳哲 村井尚子 棚山薫晴 小川敏夫 池信秀明 近藤 勝

後援会入会と会費納入(平成29年8月21日～平成29年11月13日)

田中由紀子 中村節史 中村悦子 中村哲史 中村豪史 長谷川ひろみ 佐竹恭一
沖本卓郎 永井昌明 窪田富佐子 中村忠雄 中村昭代 八里いよ 山里将夫 遠矢洋子
木下美代子 垣端敏栄 木下直子 布施秋子 濱崎武彦 有田和弘 長岡なつ子 橋本紀子
新川 彰 藤田晴美 蘆田康子 篤田晴子 圓佛誠一郎 本田英世 本田賀子 本田俊之
本田 聡 本田宏美 本田利秋 村山宣明 村山靖子 松上文子 強田純子
千里ハウジング株式会社 代表取締役 小山洋司 社会福祉法人 ばなな

後援会への寄付(平成29年9月1日～平成29年11月30日)

水谷英明 新川 淳 小川敏夫 松岡洋市 梶井英二 匿名希望1人

家族会へのご寄附に感謝いたします。(平成29年9月1日～平成29年11月30日)

本吉貞子

物品のご提供に感謝いたします。(平成29年9月1日～平成29年11月30日)

赤尾浩子 神田由美子 南野佐智子 水谷可矢子 畑中 不二園芸

ボランティアに感謝いたします。(平成29年9月1日～平成29年11月30日)

坂井恵美子 佐々木映世 ほかほか弁当 園田店

(敬称略 順不同)

発行人 社会福祉法人 北摂杉の子会
理事長 松上 利男

発行所 北摂杉の子会

住 所 大阪府高槻市城北町1丁目6-8

発行日 2018年1月10日

定価100円

施設住所一覧

- 社会福祉法人 北摂杉の子会 法人本部事務所 人材育成研修室**
 (法人独自の公益事業<研修・講師派遣・コンサルテーション>)
 〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル3F
 TEL (072)662-8133 FAX (072)662-8155
 [E-mail] info@suginokokai.com
 [URL] http://www.suginokokai.com
- 知的障害者生活施設 萩の杜** (施設入所支援・生活介護)
 〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
 TEL (072)699-0099 FAX (072)699-0130
 [E-mail] haginomori@suginokokai.com
- 萩の杜ショートステイセンター ぶれす**
 (短期入所・日中一時支援)
 〒569-1054 高槻市大字萩谷14番地1
 TEL (072)699-0844 FAX (072)699-0130
 [E-mail] breath@suginokokai.com
- グループホーム とんだ** (共同生活援助)
 〒569-0814 高槻市富田町5-13-14 101号室
- グループホーム みやた** (共同生活援助)
 〒569-1142 高槻市宮田町3-4-1 105号室
- レジデンスなさはら** (共同生活援助)
 〒569-1041 高槻市奈佐原3丁目15番1号
- ジョブサイトひむろ** (生活介護)
 〒569-1141 高槻市氷室町1丁目14-27
 TEL (072)697-2234 FAX (072)697-2222
 [E-mail] himuro@suginokokai.com
- 高槻地域生活総合支援センター ぶれいす Be**
 (生活介護・就労継続支援B型・短期入所・日中一時支援)
 〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
 TEL (072)681-4700 FAX (072)681-4900
 [E-mail] placebe@suginokokai.com
 <短期入所> TEL (072)681-4720
- 生活支援センター あんだんて**
 (指定特定相談支援・指定一般相談支援事業)
 〒569-1131 高槻市郡家本町5番2号
 TEL (072)681-4755 FAX (072)681-4900
 [E-mail] andante@suginokokai.com
- 大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか**
 (発達障害者支援センター事業)
 〒540-0026 大阪市中央区内本町1丁目2-13
 谷四ばんらいビル10F
 TEL (06)6966-1313 FAX (06)6966-1531
 [E-mail] act-osaka@suginokokai.com
 [URL] http://homepage3.nifty.com/actosaka/
- サポートセンターPASSO**
 (児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
 〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
 TEL&FAX (06)4862-5454
 [E-mail] passo@suginokokai.com
 [URL] http://oasc.jp
- 児童デイサービスセンター an**
 (児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
 〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
 TEL (06)6838-8990 FAX (06)6838-7015
 [E-mail] an@suginokokai.com
 [URL] http://oasc.jp
- こども発達支援センター will**
 (児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
 〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル2F
 TEL (072)662-0100 FAX (072)662-0056
 [E-mail] will@suginokokai.com
- こども相談支援センター wish**
 (指定特定相談支援・指定障害児相談支援事業)
 〒569-0071 高槻市城北町1丁目6-8 奥野ビル2F
 TEL (072)605-1140 FAX (072)662-0056
 [E-mail] wish@suginokokai.com
- 自閉症療育センター Link**
 (児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
 〒573-0032 枚方市岡東町24-10 アイエス枚方ビル3F
 TEL (072)841-2411 FAX (072)841-2412
 [E-mail] link@suginokokai.com
- こども発達支援センター az**
 (児童発達支援・放課後等デイサービス事業)
 〒558-0003 大阪市住吉区长居2丁目4-1 サンテ長居1F
 TEL (06)6654-8777 FAX (06)6654-8780
- ジョブサイトよど** (生活介護)
 〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目4番2号
 TEL (06)6838-7007 FAX (06)6838-7015
 [E-mail] yodo@suginokokai.com
- ジェイ・ランチよど** (就労継続支援B型)
 〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目3番10号
 TEL (06)6303-9430 FAX (06)6195-3710
 [E-mail] yodo_branch@suginokokai.com
- ジョブジョイントおおさか**
 (自立訓練<生活訓練>・就労移行支援)
 〒532-0023 大阪市淀川区十三東1丁目1番6号
 TEL (06)6100-0150 FAX (06)6309-3007
 [E-mail] jj@suginokokai.com
- ジョブジョイントおおさか たかつきランチ**
 (自立訓練<生活訓練>・就労移行支援)
 〒569-0072 高槻市京口町9番3号 関西産業ビル1F・4F
 TEL (072)668-1123 FAX (072)668-1165
 [E-mail] jj@suginokokai.com
- 法人自主製品店舗 よどのコロッケ**
 〒532-0023 大阪市淀川区十三東2丁目10番10号
 TEL (06)6306-4096
 営業時間：10：30～17：00(土・日・祝定休)
- 「LaLa-chocolat (ララ ショコラ) /TAKATSUKI」**
 就労継続支援B型
 〒569-0091 高槻市城北町2丁目13番2号
 TEL (072)668-5055 FAX (072)668-5081
 営業時間：10：00～19：00(日・祝休み)

※■は行政よりの委託事業